

# 原高同窓会 Newsletter 2012 冬

平成 25 年 4 月 12 日同窓会事務局発行

同窓会会員の皆様へ

この冬は例年より降雪が多く、また、冷え込みが厳しい日が多かったように思われる。地球温暖化？とふと考える。

さて、1月から3月の期間において学校が特に傾注することは、当然のことながら在学生への指導、卒業式の実施、そして、次年度の高校入学者選抜試験の実施である。中でも、卒業式は震災前と同様に厳粛な雰囲気にも包まれ実施できた。ただし、震災の影響により卒業生数は入学者数を大きく下回る162名であった。それでも本校の歴史をつなぐ貴重な存在であったことに変わりない。それぞれが希望進路を実現し母校を巣立っていった。

高校入試の募集定員が2年連続40名ずつ減少し、160名となった。地域が各方面で復興が望まれる中、原町高校も多くの課題を抱えることになる。次年度とそれ以降をもにらみ、同窓生職員としても母校での課題に取り組む覚悟を新たに作る季節となった。

## 1 第65回卒業式の様子

卒業生162名がたくましく巣立っていった。式中、前生徒会長が答辞を披露し、震災後本校で学び活動するときの苦悩がありありと伝わる内容であり、感動を呼んだ。しかし、伝統行事が開催できない1年を経ながらも、その継承を見事にやり遂げた生徒たちであった。卒業生の前途に幸多いことを祈念する。



## 2 同窓会活動について

「同窓会活動協力金募集始まる！」

平成25年3月16日、本件に係る準備会を実施し主に地元小学校学区ごとの担当者を確認した。それぞれ準備が整い次第、同窓生宅を訪問し協力依頼を開始した。担当者が各同窓生に配布する資料は以下の通りである。

- (1) 「同窓会活動協力金納入のお願い」(裏面は「振込方法」の説明)
- (2) 「払込取扱票」(赤)
- (3) 「原高同窓会会報第45号」(平成25年3月1日発行)

皆様のご協力をお願い申し上げます。